



希望・勇気・決断、歴史に耐えうる政治を

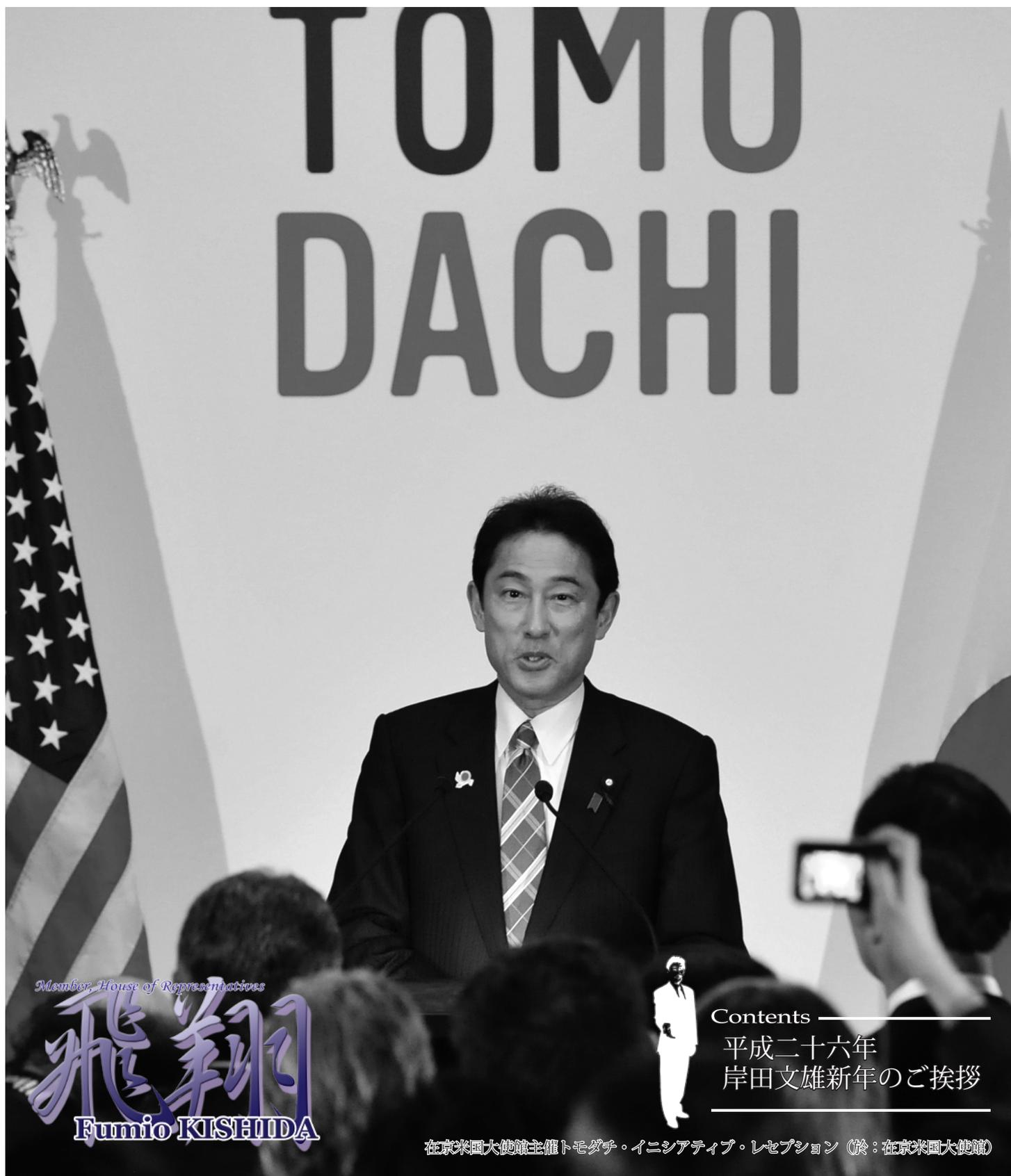
FM 翔

TRY TO THE BEST

新春特別号

Quarterly 2014 vol.58

TOMO DACHI



Member, House of Representatives

飛翔

Fumio KISHIDA

Contents

平成二十六年
岸田文雄新年のご挨拶

在京米国大使館主催トモダチ・イニシアティブ・レセプション (於：在京米国大使館)

外務大臣 岸田文雄 平成二十六年 新年のご挨拶



外務大臣夫妻主催天皇誕生日祝賀レセプション

年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様健やかに新しい年をお迎えになりましたことをお喜び申し上げます。旧年中には多くの方々に変な大変重なるご指導を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

第二次安倍内閣が誕生して一年が経ちました。私も外務大臣として入閣し、日本外交の責任者として全力を尽くして参りましたが、日本を取り巻く国際状況は日々めまぐるしく変化しており、日々忙しい毎日を送っております。国際社会のグローバル化が進むに従い、絶えず変化する国家間の様々な問題や課題は二国間だけのものにとどまらず、それぞれの国の問題がお互いに影響し合っており、国際社会全体の問題に発展するということも珍しくなっております。それだけに今の日本に求められている期待も大きく、その一挙手一投足には大きな注目が集まります。

日本外交の主軸である日米関係について、外務大臣に就任してから私は米国に四度訪問し、前事務長官のクリントン事務長官とケリー事務長官とは電話会談を含めると計十四回会談を行いました。またその会談内容も日米間だけの課題にとどまらず多岐にわたり、例えば十一月に私自身が核問題などでイランを訪問したことなどを電話会談においてケリー事務長官と議論いたしました等、あらゆる国際問題について米国とは連絡を密にしているところです。これからも米国とは日本の同盟国としてさらに関係を深め、連携をとってこの国際社会に山積している諸課題に当たって参りたいと思っております。

また同時に近隣諸国外交についても注力しています。外務大臣に就任してまず最初の訪問先をフィリピンやシンガポール・ブルネイに選んだことによっても、アジア諸国またASEAN諸国とこれから益々日本との関係を深めて参りたいというメッセージを發しました。昨年は日・ASEAN友好四十周年の節目の年であり、十二月には東京で日・ASEAN特別首脳会談が開かれ、ASEAN各国の首脳が日本に集まりました。

さらに、いわゆるアベノミクスは今や全世界に知れ渡り、私も二国間外相会談の場だけでなく国際会議の場においても高い関心をもってこれを探ねられます。世界における経済で果たす日本の役割は大変大きく、今年も益々経済外交を強力に推し進めて参りたいと思っております。

先ほども触れましたが、昨年十一月にイランを訪問しました。核兵器の問題などをイランの外相や大統領と協議するためです。結果、両国外相共同声明を發表するに至り、二国間関係のさらなる発展と、核問題の前進について確認できました。イランの核問題については米国や関係諸国の外相とも連絡を緊密にとっており、これらが昨年十一月二十四日のジュネーブでのイランとEU3+3の核問題に関する合意にもつながったと思います。

昨年十月には国連において核兵器の非人道性を訴える共同声明に日本として初めて署名もいたしました。唯一の戦争被爆国として日本の署名は広く歓迎を受けたところですが、これがゴールではありません。これからも積極的に核問題について取り組んで参る所存です。こうした核軍縮をはじめ、環境、医療、防災など、グローバルな課題にも日本は一層貢献していかねなければならぬと考えます。どうぞこれからもご指導ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。

今年一年が皆様にとって、ご健康ご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。

外務大臣 岸田文雄

岸田文雄後援会事務所

●国会事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1222号室

TEL (03) 3508-7279 (直通) FAX (03) 3591-3118

●広島事務所

〒730-0013 広島市中区八丁堀6-3
和光八丁堀ビル9階

TEL (082) 228-2411 (代表) FAX (082) 223-7161

●岸田文雄ホームページ

<http://www.kishida.gr.jp/>

ケータイ用サイトQRコード

